

二〇二〇年三月号からの規定課題

祖詠「蘇氏別業」

別業居幽處

別業べつぎよう 幽處ゆうしよに居る

到來生隱心

到來とらい 隱心いんしんを生ず

南山當戸牖

南山なんざん 戸牖こゆうに当たり

澧水映園林

澧水ほうすい 園林えんりんに映ず

竹覆經冬雪

竹は覆おほう 冬ふゆを經る雪

庭昏未夕陰

庭は昏くらく未だ夕いまべならざる陰かげ

寥寥人境外

寥寥りょうりょうたり人境じんきやうの外ほか

閒坐聽春禽

閒坐かんざして春禽しゆんきんを聴く

通訳

蘇氏の別荘は人里離れた静かなところにある。ここへ来ると、隠居して暮らしたいという気持ちになる。

戸口と窓からは終南山が正面に見える、

澧水の川は園林を映して流れている。

冬越えの雪が竹藪に覆われて残っている。

まだ夕方にもならないのに庭は薄暗い。

この人里離れたひっそりとした場所に

私はのんびりと座り、春の鳥の鳴き声に耳をすませている。